

# Smile Tomorrow



ママなんか  
大嫌いだ…



!?

翔子  
ちゃん…





そういう  
イライラした  
時は：

だから



きゃっ！



な  
何やってん  
のよ



ほら  
こうやって

すっぽんぽんに  
なるのさ



裸になって  
自然を  
感じるんだ

嫌なこと  
なんか  
忘れるよ

所詮  
俺たち一人一人なんて  
大自然の一部にしか  
過ぎないんだよ

小さなところで  
悩んだり  
苦しんだりしたって  
何の役にも  
立たないのさ



ほくら

気持ち  
イイぞ



さあ  
翔子ちゃんも  
脱いで

え

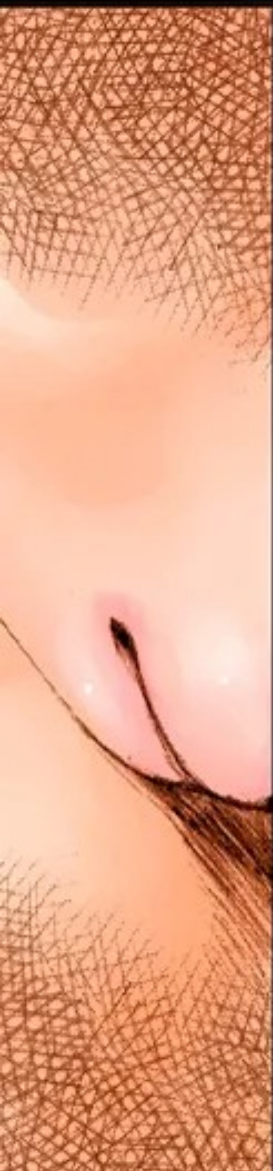




ダメだよ  
パンツも  
脱がなきゃ



ホント  
気持ちイ〜



えーっ

女の子だから  
恥ずかしいよ



ダメダメ

それじゃ  
大自然と  
一体になれ  
ないよ

わ  
さ  
本  
当  
だ  
ら  
な

自  
分  
が  
自  
然  
に  
帰  
っ  
て  
行  
く  
感  
じ  
!

翔  
子  
ち  
ゃ  
ん  
こ  
っ  
ち  
来  
て  
み  
な  
よ

こ  
の  
中  
ひ  
ん  
や  
り  
し  
て  
気  
持  
ち  
良  
い  
よ

う  
わ  
何  
こ  
の  
ほ  
ら  
穴  
?

う  
ん

ね  
っ



触ったり  
舐めたり  
してるのを  
見ちゃったの

私ね  
ママがパパの  
おちんちんを



それは…

どうして  
翔子ちゃん  
怒られたの？



あははは…

どうして  
そんな事するの  
って  
しつこく  
聞き続けたら



えっ  
それは…



ねえ  
五郎くん  
おちんちんって  
舐めたら  
気持ち良いの？



わっ！



翔子ちゃん  
な何を...



どう  
気持ちいい  
の？



やっぱり  
気持ちいい  
んだね

アッ



アッ



うわっ  
大きくな  
っちゃた！



はあああ







穴があるんだ…



くちっ



きゅん



やだぁ！

広げて  
見ないでエ！

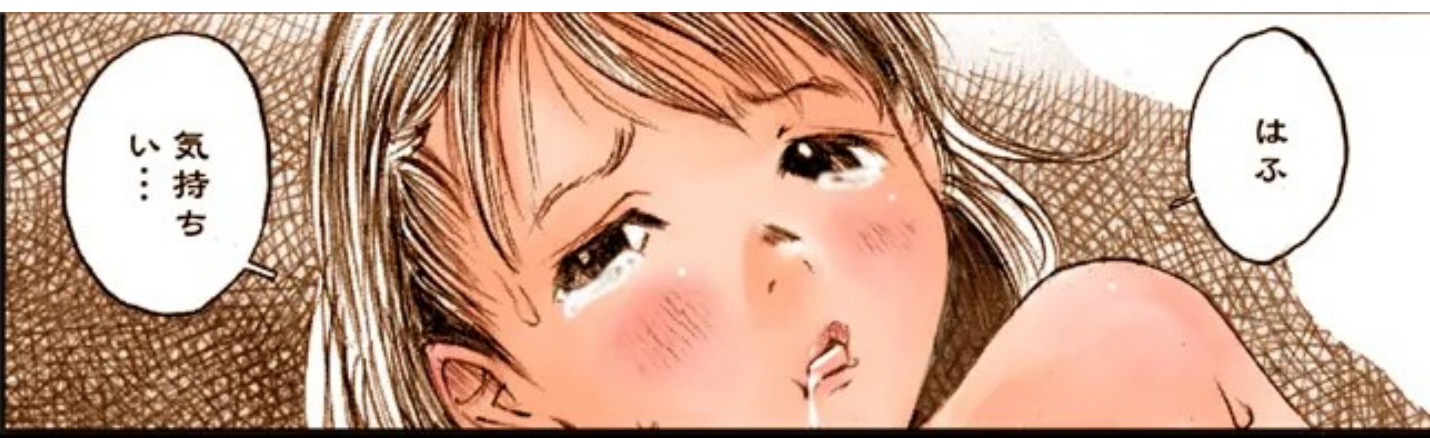


はうっ！



くっ！

んっ



気持ち  
い……

はふ



グニッ

グニッ



スフッ



はあ……



どうした  
んだろ  
俺……

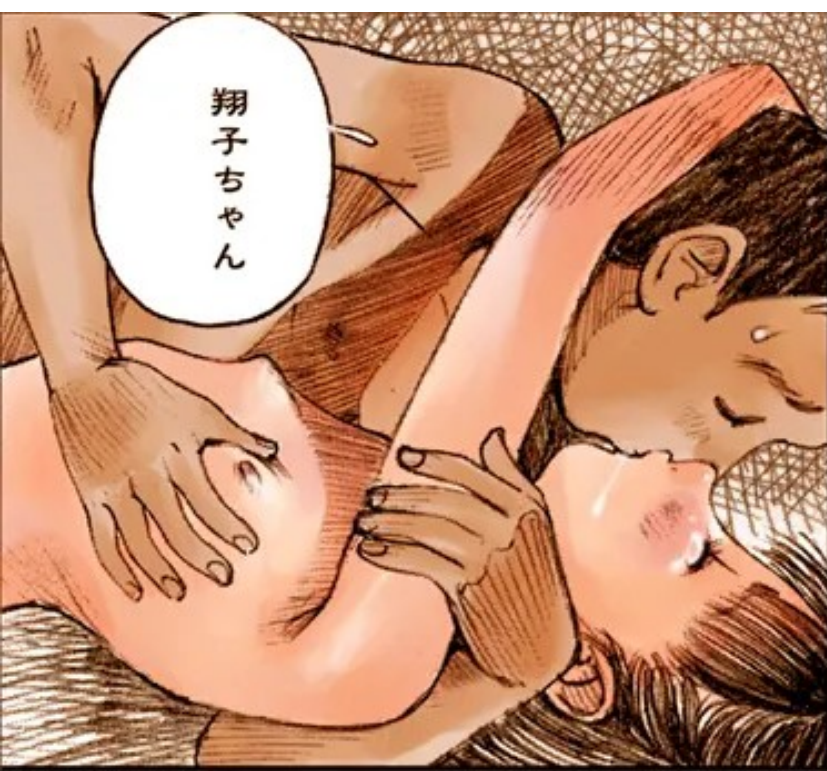
ちんちんを  
翔子ちゃんの  
ここに  
入れたくて  
堪らないよ



痛いっ！

グニッ

グニッ



翔子ちゃん



はあ

あ



ジュウ



ジュウ



スプツ



気持ちいい  
翔子ちゃん

いっ  
はうっ！

ジュウ

ジュウ



はう  
あうん  
!

ズッ

ズッ



ブチッ



五郎くん私  
変な感じ  
だよ...



何か  
ちんちんから  
出そう  
だよ

ねえ  
いいのかな

はあ  
はあ



翔子  
ちゃん！

翔子ちゃん  
はああ...

はあ  
はあ



うっ！

で  
出る！



はあ  
はあ  
はっ！

いっ！  
はうん！



うん



五郎くん  
私  
分かったよ

えっ  
何？



じゃ私  
帰るね

ママが  
心配する  
から

うん



あ…  
ははは



ママは  
パパのこと  
大好きなんだ  
って

だから  
おちんちん  
舐めたり  
するんだって



だから…

明日また  
ここで…  
ねっ

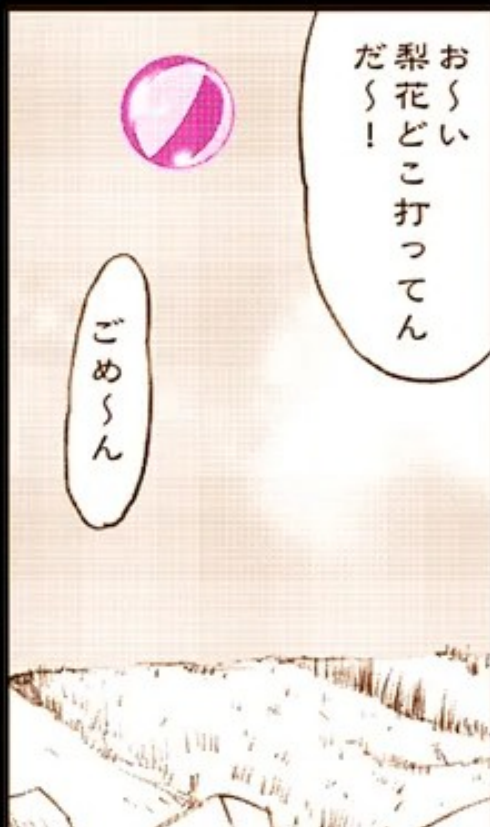


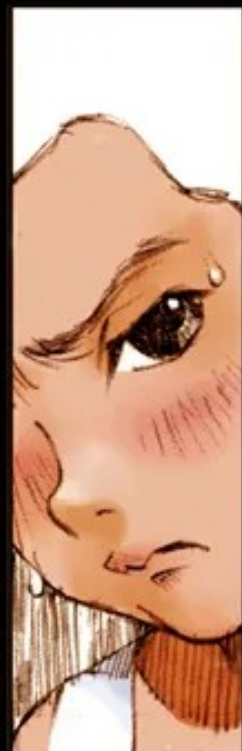
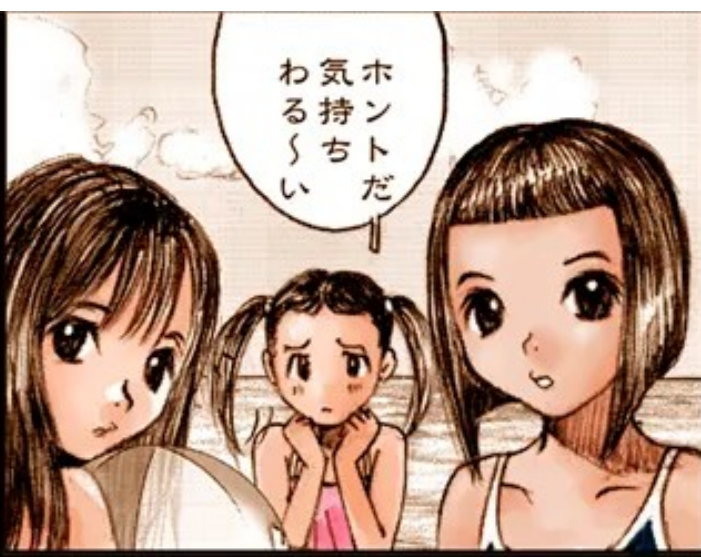
あのね五郎くん

私…

五郎くんのこと  
好きよ

END



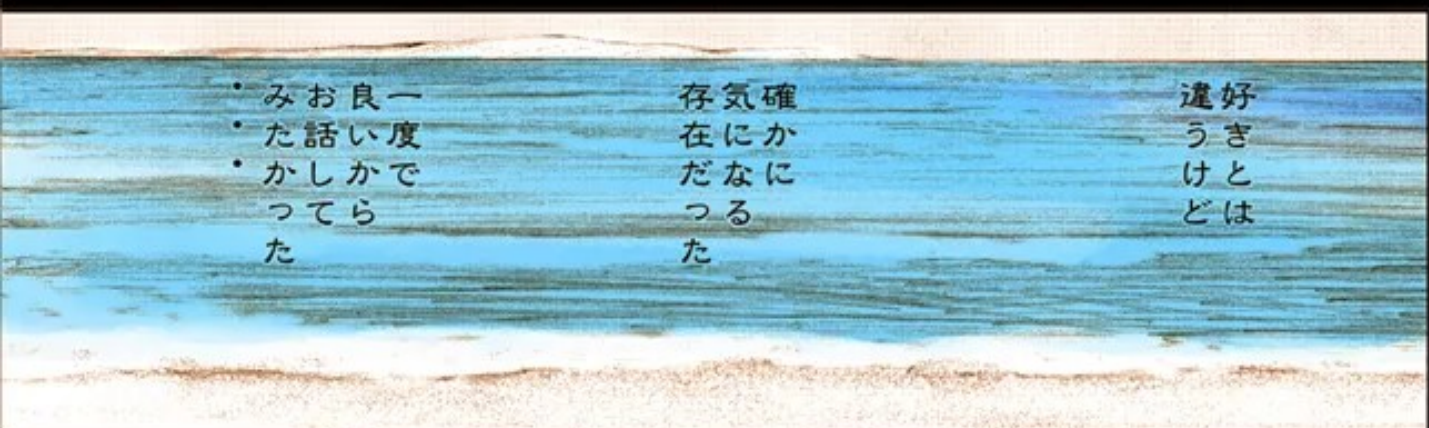




もしかして志穂ちゃんあの子に惚れた？

ち違うよ

志穂になったら赤くなってる



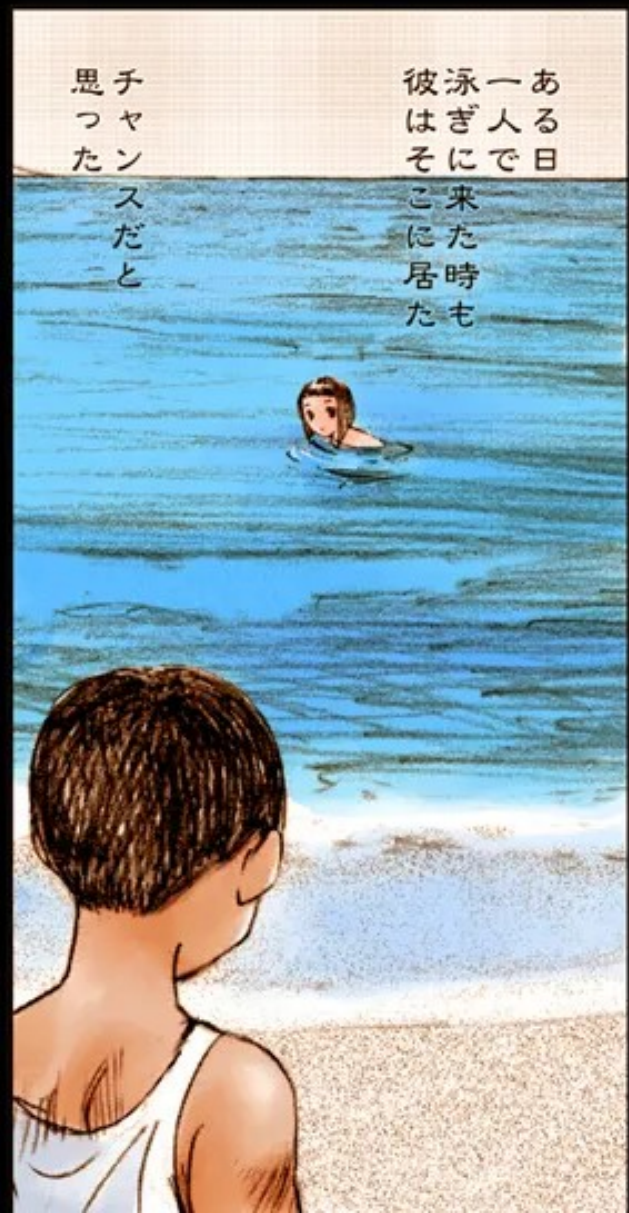
好きとは違うけど

確かに存在だっただけ

一度かかってしまった良話か



彼がどんなに反応をするか溺れる振りをするかしてみたい



ある日一人で泳ぎに来た時彼はそこに居た

チャンスだと思っただけ



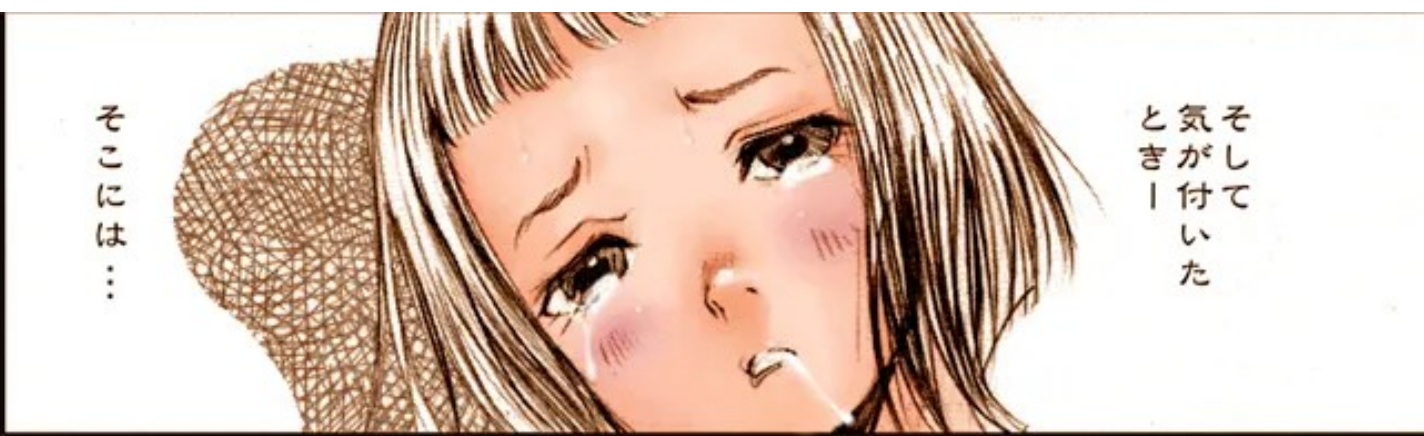
うっ！

足が



うぶう！

本当に溺れた意識が遠くになった



そして  
気が付いた  
ときー

そこには…



彼が居た

心配そうに  
私を守っていた



泳げないん  
ならでも  
ウキワでも  
してるよな



私…  
助かったの



キミが  
助けてくれ  
ありがとう



礼は  
いから  
早く  
帰って  
くれ



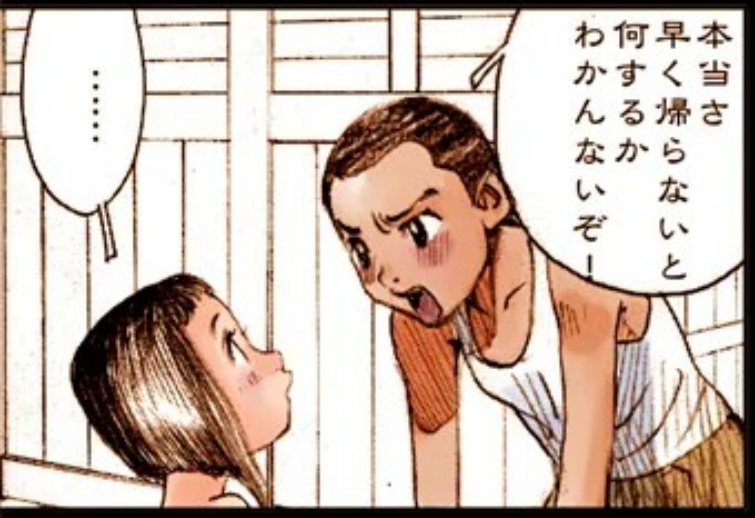
のびてる  
時に  
裸にして  
触りまくった  
から……

お俺  
おまえが  
……



うるさい  
もう礼は  
もらった

そうはいかないよ  
命の恩だから  
なんどからお礼  
うさんとおちや  
しなくつちさ  
今度さ……



本当さ  
早く帰らないと  
何するか  
わかんないぞ！

……



え……っ！

うそ……っ！



ははは  
嘘ね  
私に恩を  
売りたい  
ないから  
そんなんだ  
言……



うっ……

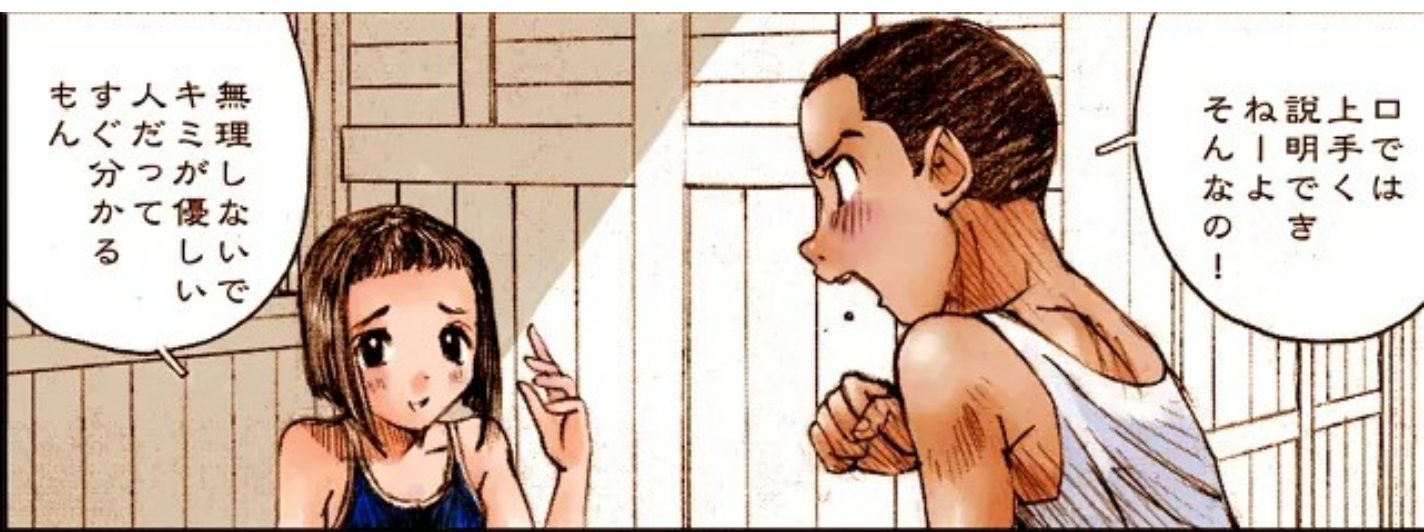


じゃ  
どなん  
だつた？  
私の……



嘘じゃないぞ！

マンコとか  
ケツの穴とかも  
開いて  
見たんだからな！



口では  
上手く  
説明でき  
ないよ  
そんなの！

無理しないで  
キミが優しい  
人だつて  
すぐ分かる  
もん



俺が  
優し  
いわけ  
ね！

元気にな  
ったん  
なら  
早く  
出て  
けよ！



どう  
した？



ゲホ  
ゲホっ



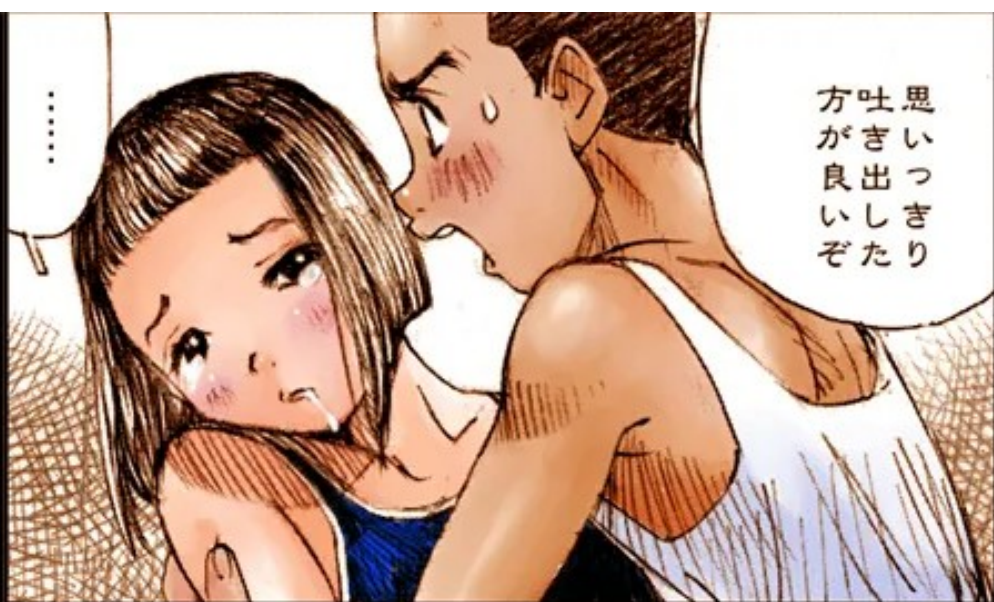
うっ！

ぐっ！



まだ  
水が  
残って  
たか！

大丈夫  
か  
おい！



思いっきり  
吐き出した  
方が  
良いぞ

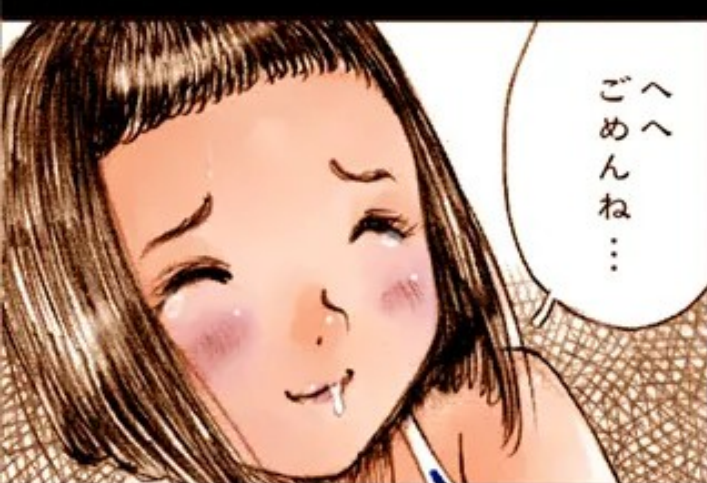


おまえ  
……

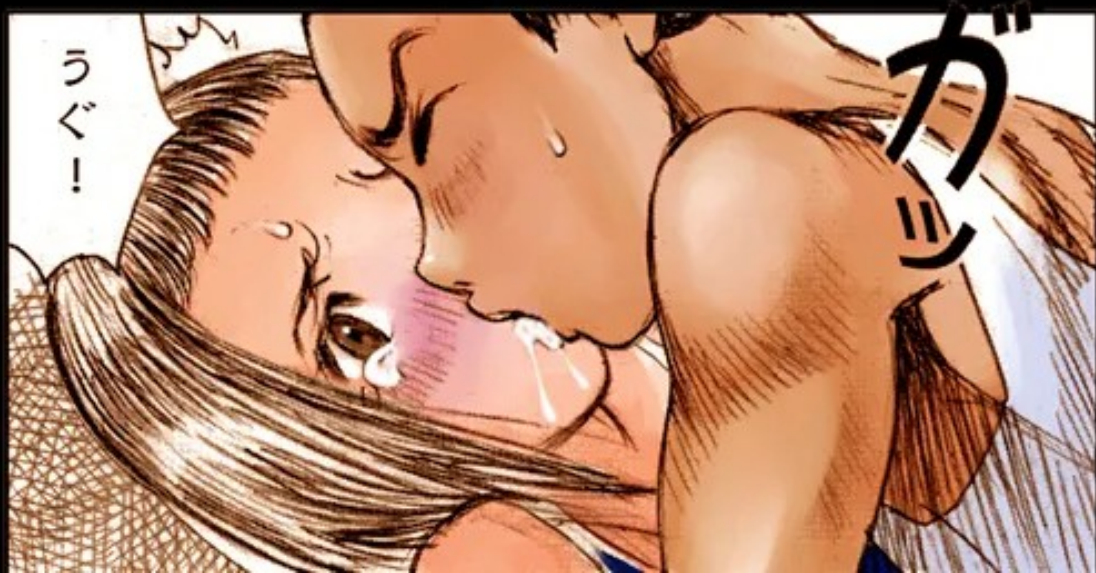
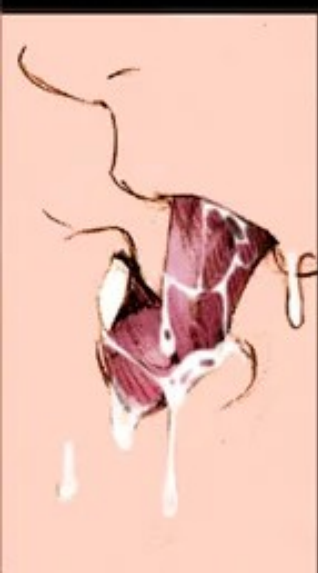


へへへ  
嘘  
でしたあ

やっぱり  
キミは  
優しい  
んだね



へへ  
ごめんね……



うぐ！

ガッ



俺を  
バカに  
しやが  
って

おれを



あ

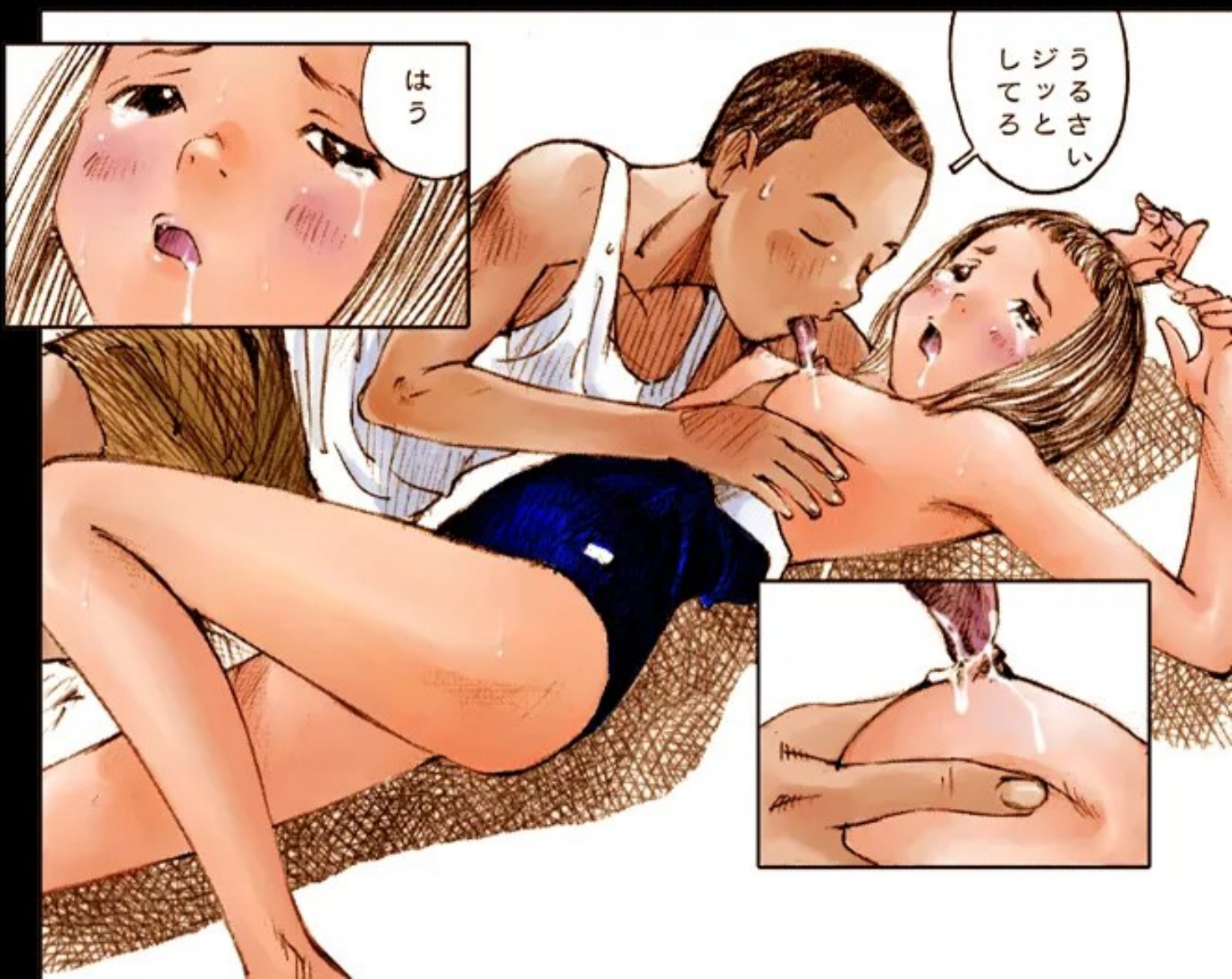
いや



ごほご  
めんめ  
んとん  
！に

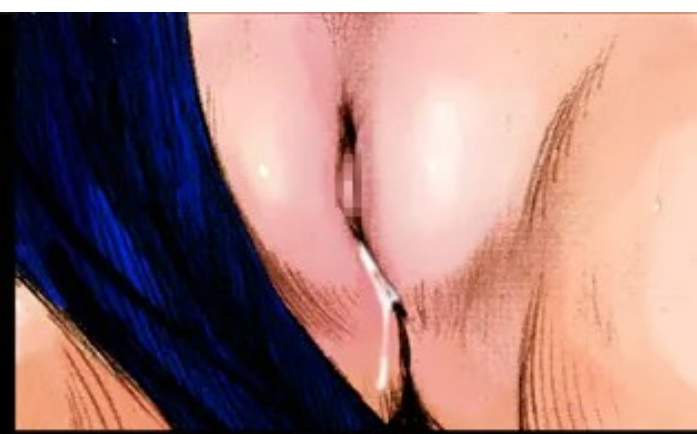
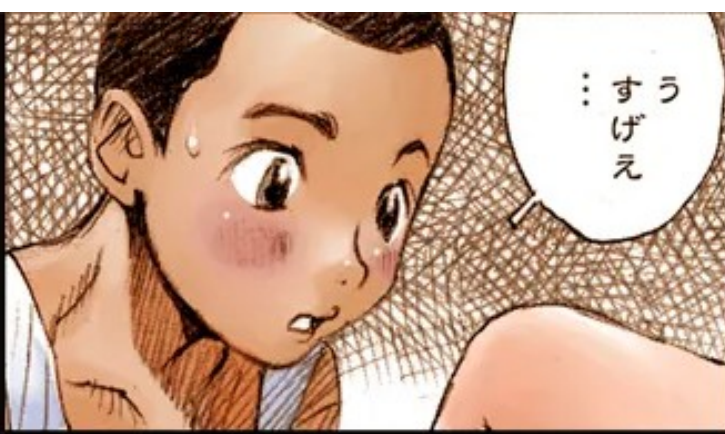


は  
う



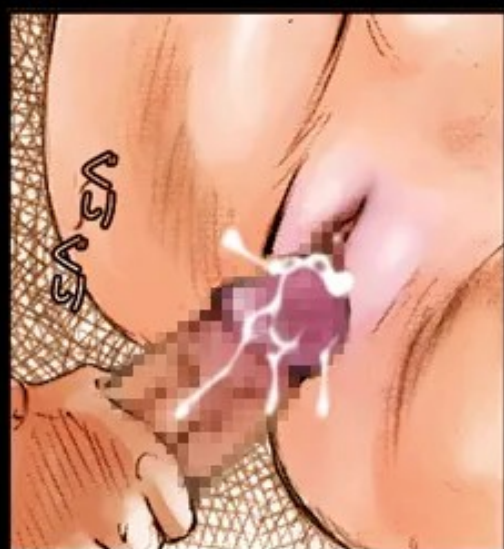
うるさい  
ジツと  
してる









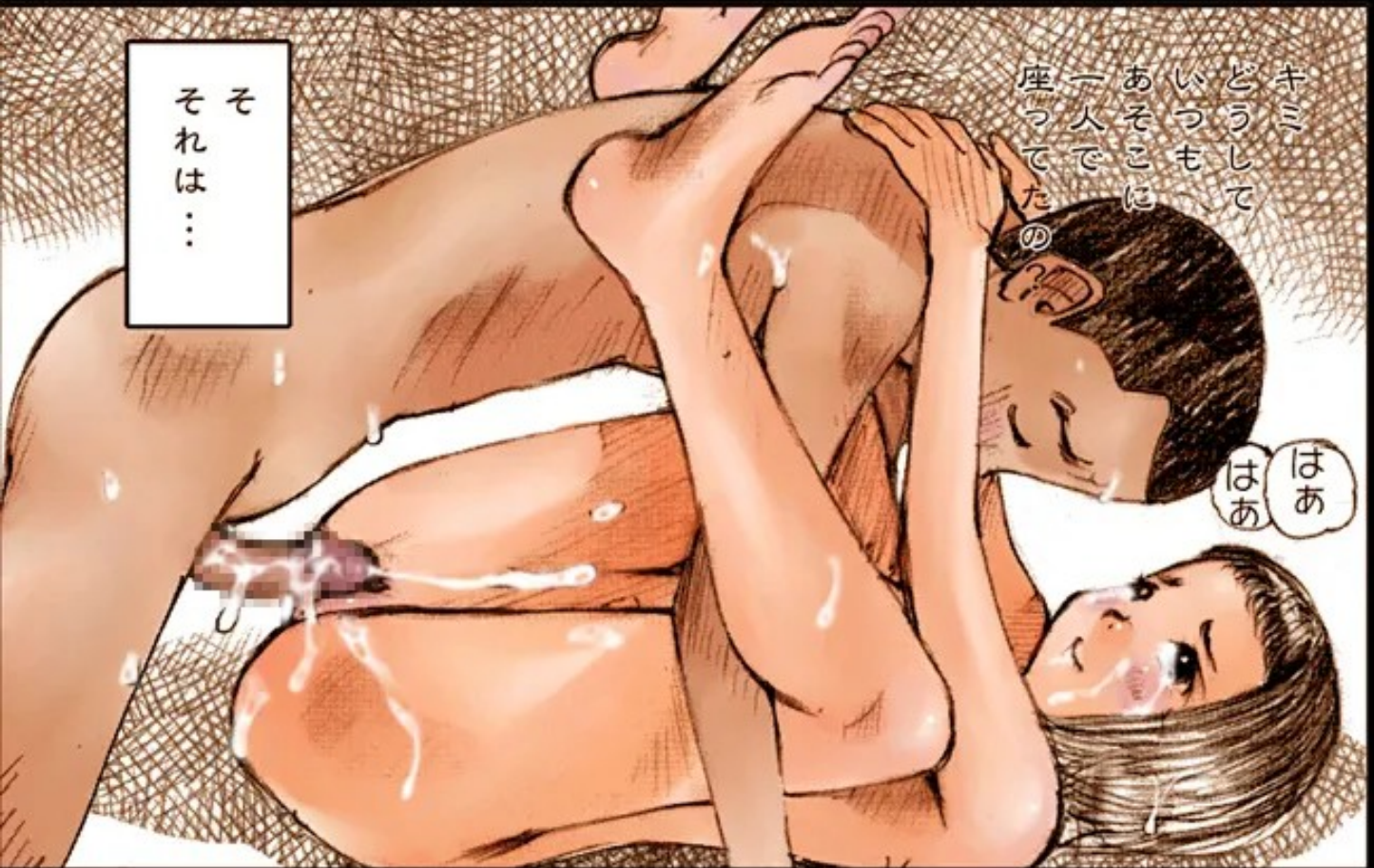






ねえ  
一つ教えて  
…

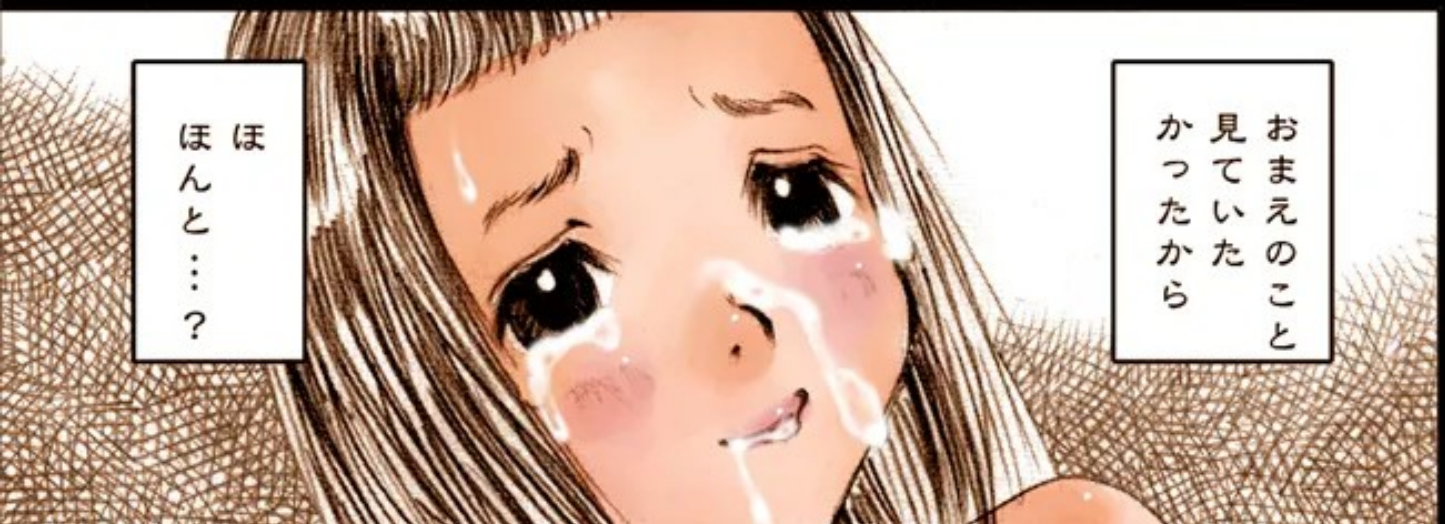
はあはあ



キミ  
どうして  
いつも  
あそこに  
一人で  
座ってたの

はあ  
はあ

そ  
それは  
…



おまえのこと  
見ていた  
かったから

ほ  
ほんと…？

嬉しかった

...

あれから一年  
また別荘のある  
この避暑地に  
やって来た  
でも...



でも  
なぜか  
次の日から  
いつもの場所に  
彼の姿は  
無かった



なぜ  
こんなに涙が  
出て来るのか  
分からない...  
彼の面影が  
私の記憶から  
消えていくのが  
哀しかったの  
かもしれない...



The End

あの場所にも  
この小屋にも  
彼の姿はない...  
去年の  
あの時みたい  
にまた涙が  
溢れ出した...



# ひみつ

浩輔く  
さん  
良いもの  
見つけたよ！

なんだよ？  
美和ちゃん

ほら  
あれ！

いいから  
こつち  
こつち

でも  
ここは危ないから  
行っちゃダメだって  
母ちゃんから  
言われてるだる

大丈夫だよ  
脅してる  
だけだよ



テント  
か…



そのまま  
置いて行っ  
たかな？

ここで  
キャンプで  
もして



誰か  
居るの  
か？

うん  
昨日から  
誰も居  
ないよ



おい  
おい  
…



ねえ  
中に入  
って  
みよう  
よ



うわっ  
思った  
より  
広い！



マットも  
あって  
イイ感じ！

すげー  
なんか  
カッコイイ！



いいね  
じゃ俺  
漫画本  
何冊か持っ  
てくる



ねえねえ  
ここを  
二人だけ  
の秘密地  
にしない？

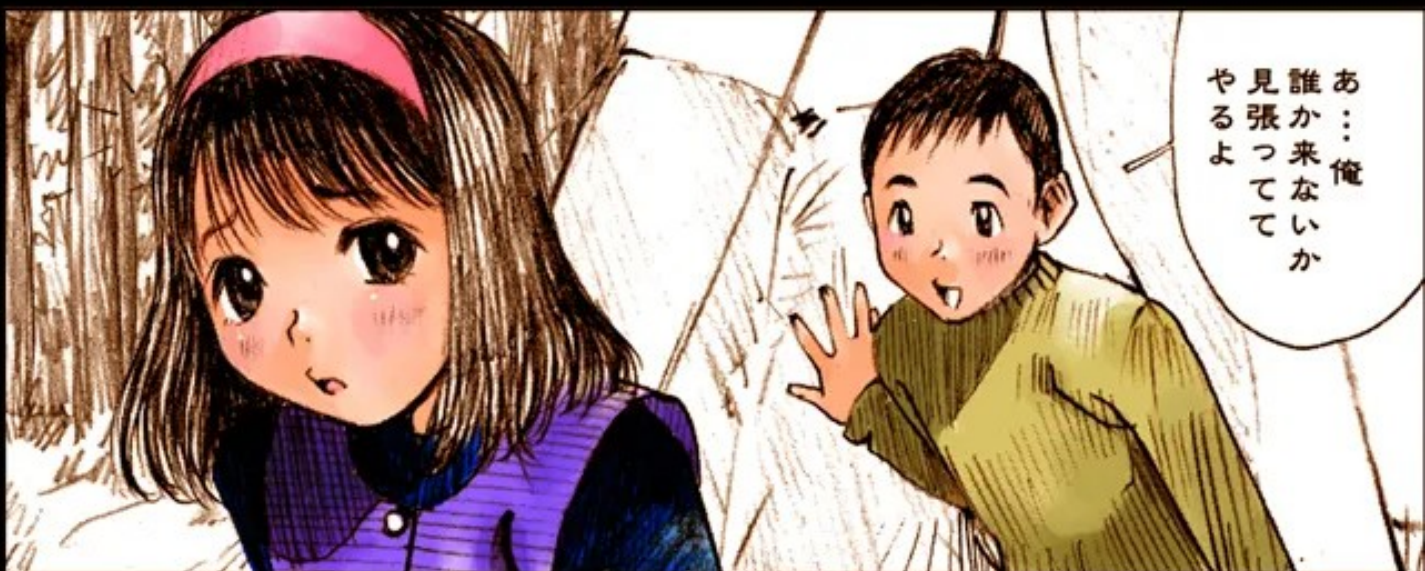


私  
お菓子  
持ってくる！



テーブルも  
いるか…

本棚は  
置けない  
かな？





いいだろ  
ちよつと  
ぐらい

中に  
入っててよ

い  
いよ



何言  
つてん  
の嫌  
よ!



女の  
子の  
おし  
つこ  
見て  
みた  
い  
んだ



絶対  
イヤ!



絶対  
見  
たい!



イヤ  
です

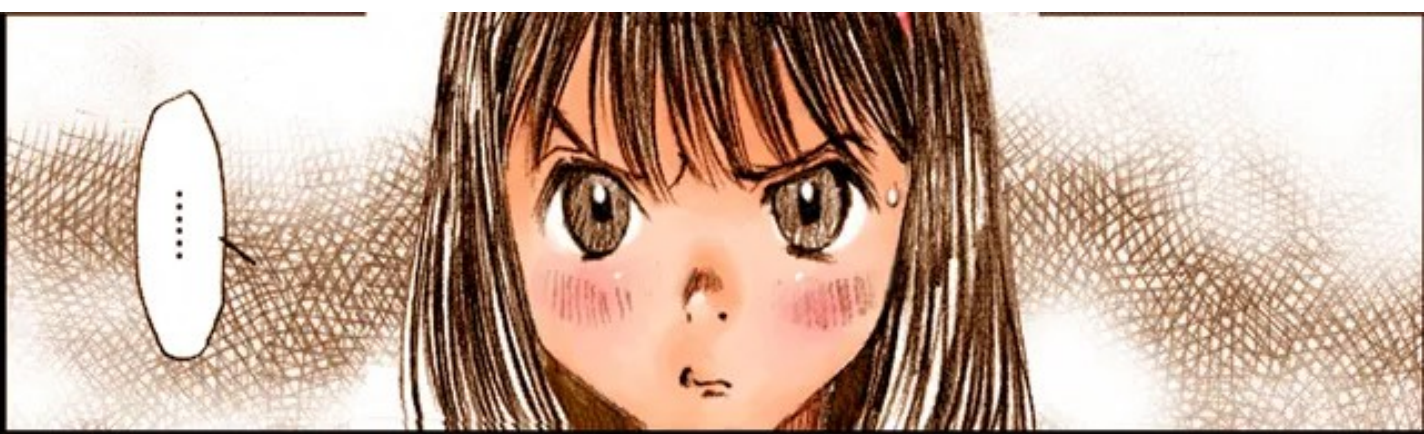


早く  
あつ  
ち行  
つて  
漏れ  
ちや  
うよ  
オ

も  
もう!



見  
たい  
よお  
美  
和  
ち  
や  
ん  
の  
お  
し  
つ  
こ  
み  
た  
い  
よ!





もう  
浩輔さんの  
せいだからね

ごめんよ  
そんなに  
濡れそうだから  
思わなかったから



うわっ  
やっちゃった  
か



寒い…

代わりに  
俺のパンツ  
穿いとく?



冷たい  
よ…

ぐ・す…



乾かさな  
い

とりあ  
えず  
パンツ  
脱いで

いら  
ない!





ここから  
おしつこが  
出るんだよ

ちんちんの  
先っぽが  
割れてるだろ



見ほ  
てら

!



じゃ  
美和ちゃん  
のは…



へえ  
おちんちんって  
こんな  
なってる  
んだ…



プニユ  
プニユで  
柔らかい

わっ



あつ  
私のは  
漏らしたから  
汚いよ





あ  
つ  
た  
か  
い…



だって  
すごく  
可愛いから



ダメだよ

汚い  
ってばあ



はう



はふ  
はふ



じゃ  
浩輔くんのも  
舐めてあげる



大きく  
なってる…





おちんちん  
入ってくる



じゃあ  
入れて  
みるね



す  
す



いっ…



あ…  
ちよつと  
痛いよ

うわ  
ちんちんが  
絞めつけ  
られる

す  
す







私また  
おしっこ  
したくなつて  
来た

あつ  
見せて  
見せて



どこから  
でるから  
しつかり  
見るぞ



いい？  
行くよ

おう！



吉やははは  
いい気味〜！

うえ〜  
汚ねえ〜！



The End